

# 2011年3月期第3四半期 連結決算報告



大幸薬品

---

2011年2月  
大幸薬品株式会社



- 感染管理事業の低迷により、  
第3四半期累計期間は損失を計上
- 第3四半期は一定の需要回復から、流通在庫が減少

# 連結經營成績

# 連結経営成績サマリー

## ➤ 感染管理事業の低迷により損失を計上

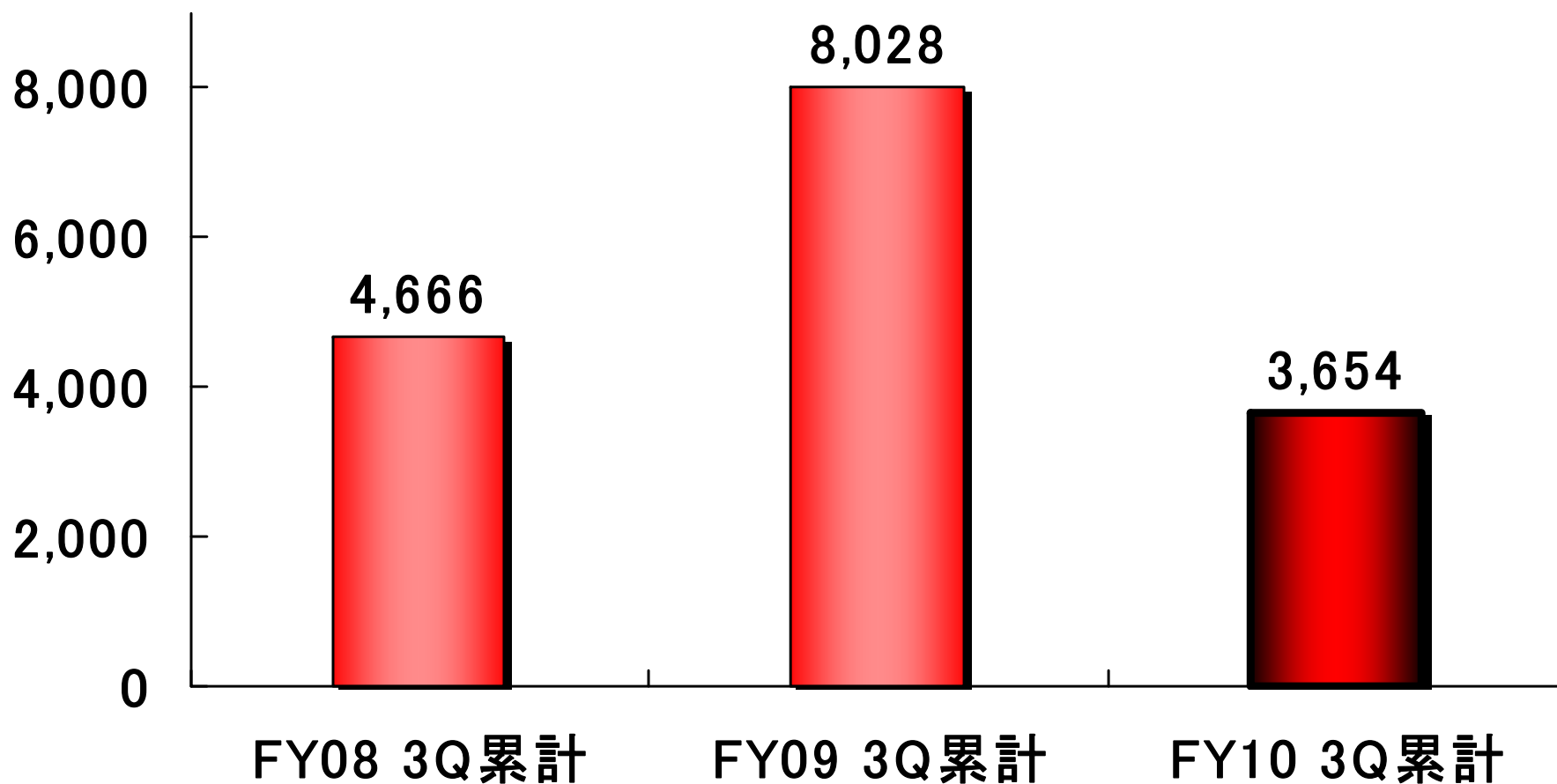
単位:百万円

	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	増減	増減率	増減要因等
売上高	8,028	3,654	△4,373	△54.5%	感染管理が4,031百万円の減少 (製品需要の低迷、流通在庫の滞留、 多額の返品発生)
売上原価(※) (売上高比率)	2,142 (26.7%)	1,153 (31.5%)	△989	△46.2%	
売上総利益	5,886 (73.3%)	2,501 (68.5%)	△3,384	△57.5%	感染管理の低迷による減少
販売費及び 一般管理費	2,876	3,021	145	5.1%	製品認知度向上、流通在庫減少に向けた 感染管理の広告宣伝強化
営業利益	3,010 (37.5%)	△519 (△14.2%)	△3,530	—	
経常利益	3,024 (37.7%)	△492 (△13.5%)	△3,516	—	営業外損益プラス27百万円(ネット) (保険解約返戻金計上等)
四半期純利益	1,928 (24.0%)	△923 (△25.3%)	△2,851	—	・特別損失(減損損失等) 126百万円 ・法人税等調整額 299百万円

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

## ➤ 感染管理の反動減が大きく影響

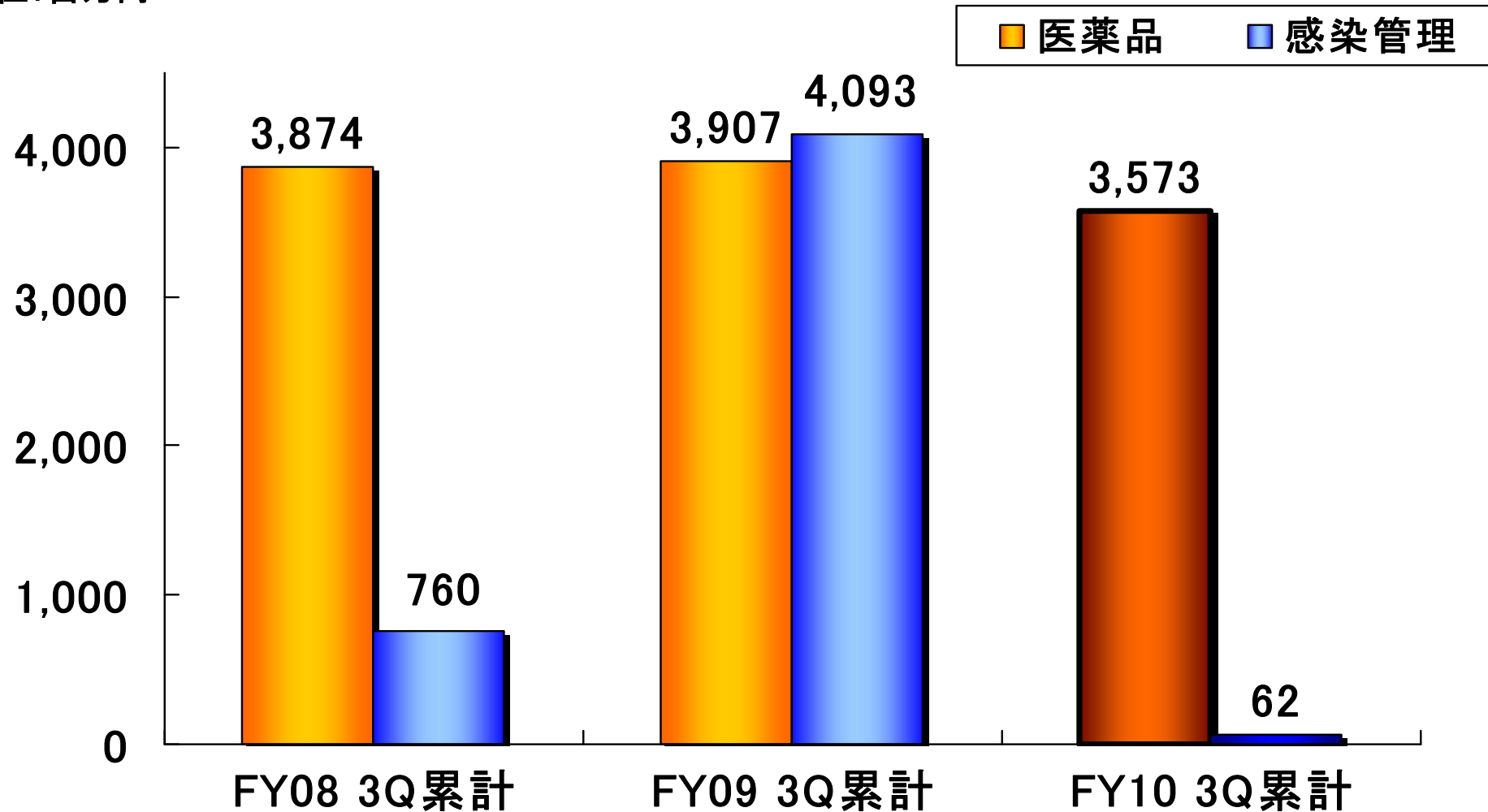
単位: 百万円



# 連結売上高推移(医薬品・感染管理事業)

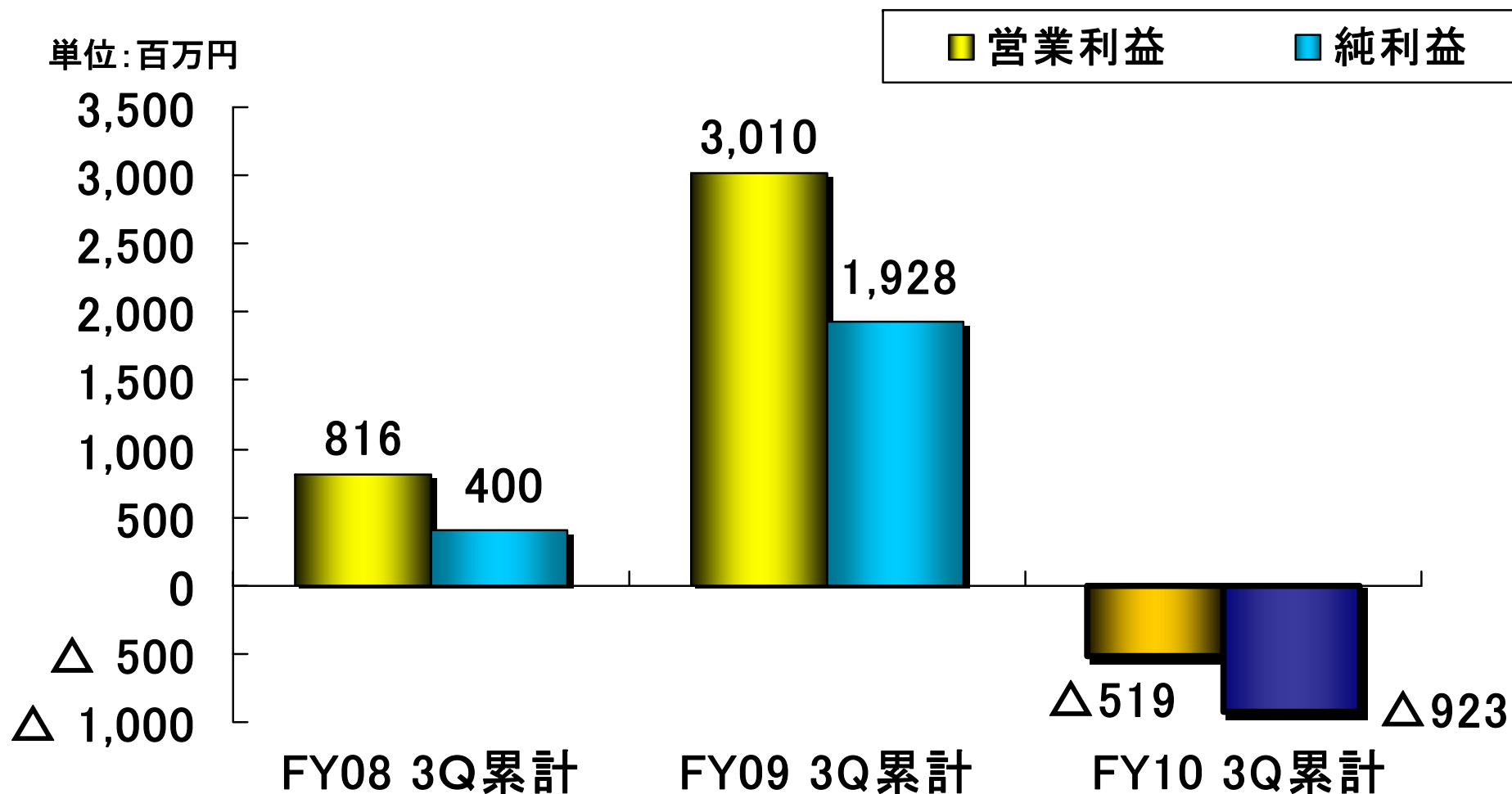
- (医薬品) 国内の『正露丸』と中国・台湾向けが減少
- (感染管理) 新型インフルエンザ収束後の需要縮小と返品の影響

単位:百万円



# 連結営業利益・純利益推移

➤ 営業利益、純利益ともに損失を計上



# 販売費及び一般管理費

## ▶ 感染管理の広告宣伝を強化(TVCM増量等)

単位:百万円

	FY09 3Q累計	売上高 比率	FY10 3Q累計	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,048	13.1%	1,218	33.3%	170	16.3%	感染管理の広告・在庫保管料増加
広告宣伝費	645	8.0%	777	21.3%	132	20.5%	製品認知度向上、流通在庫減少に向けた感染管理の広告宣伝強化
販売促進費	288	3.6%	289	7.9%	1	0.4%	
人件費	1,021	12.7%	990	27.1%	△30	△3.0%	賞与支給額の減少等
その他経費	806	10.0%	813	22.2%	6	0.8%	
研究開発費	241	3.0%	200	5.5%	△40	△16.9%	感染管理の研究開発スケジュールを見直し
支払手数料	164	2.0%	179	4.9%	15	9.3%	
計	2,876	35.8%	3,021	82.7%	145	5.1%	



# 連結財政状態

➤ 損失計上や法人税の支払い等により現金及び預金が減少

単位:百万円

	FY09 期末	FY10 3Q末	増減	増減率	増減要因等
<b>流動資産</b>	8,784	7,085	△1,698	△19.3%	
現金及び預金	5,123	2,852	△2,270	△44.3%	・EBITDA △343百万円 ・運転資本増加 △1,171百万円 ・法人税等 △816百万円 等
受取手形及び売掛金	1,331	1,999	668	50.2%	医薬品の売上債権が増加
たな卸資産	2,021	2,002	△18	△0.9%	
<b>固定資産</b>	5,144	4,863	△280	△5.5%	
<b>資産合計</b>	13,929	11,949	△1,979	△14.2%	
<b>流動負債</b>	2,448	1,504	△944	△38.6%	法人税等の支払額 816百万円等
支払手形及び買掛金	801	287	△513	△64.1%	支払方法変更により「未払金」が 別途 398百万円増加
<b>固定負債</b>	866	851	△15	△1.7%	
<b>純資産</b>	10,613	9,593	△1,020	△9.6%	利益剰余金の減少
<b>負債純資産合計</b>	13,929	11,949	△1,979	△14.2%	

自己資本比率	76.2%	80.3%
手許流動性比率	697.4%	702.5%

# 連結キャッシュ・フロー状況

➤ 損失計上や法人税の支払い等により営業活動CFがマイナス

単位:百万円

	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	主な要因
営業活動CF	971	△2,091	・EBITDA △343百万円 ・運転資本増加 △1,171百万円 ・法人税等 △816百万円 等
投資活動CF	△185	△114	医薬品に係る子会社の工場設備投資等
財務活動CF	△29	△58	・配当金支払 △126百万円 ・ストックオプション払込収入 80百万円 等
現金・同等物換算差額	△2	△52	
キャッシュ増減(※1)	753	△2,316	
キャッシュ期末残高	4,049	2,738	
EBITDA(※2)	3,160	△343	・営業損失 △519百万円 ・減価償却費 175百万円
運転資本(△は増加)(※3)	△1,943	△1,171	・医薬品に係る売上債権増加 ・感染管理等に係る仕入債務減少 等

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA : 営業利益 + 減価償却費

(※3) 運転資本 : 売上債権 + たな卸資産 - 仕入債務

# セグメント情報

# セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- (医薬品) 感染管理の減収により、医薬品への費用配賦が増加
- (感染管理) 需要縮小と返品の影響から、損失を計上

単位:百万円

	売上高			営業利益			
	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	増減率	FY09 3Q累計	利益率	FY10 3Q累計	利益率
医薬品事業	3,907	<b>3,573</b>	△8.5%	1,881	48.2%	<b>1,463</b>	<b>40.9%</b>
感染管理事業	4,093	<b>62</b>	△98.5%	2,345	57.3%	<b>△865</b>	-
その他事業	27	<b>19</b>	△30.8%	5	21.0%	<b>△19</b>	-
全社(※)	-	-	-	△1,222	-	<b>△1,097</b>	-
連結合計	8,028	<b>3,654</b>	△54.5%	3,010	37.5%	<b>△519</b>	<b>△14.2%</b>

※全社に係るコスト(主に基礎的試験研究・企業広報・管理部門コスト)

# セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 『正露丸』の落ち込みから、国内売上高が減少
- 『セイロガン糖衣A』は同水準を維持

当社製品トータルシェア： 2010年4月～2010年12月累計 51.0% (出所:株式会社インテージ 調査データ)

## 製品別売上高

単位:百万円

	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	増減	増減率
正露丸	1,559	1,445	△114	△7.4%
セイロガン糖衣A	1,578	1,577	△0	△0.0%
その他(※)	62	64	2	3.6%
計	3,200	3,087	△113	△3.5%

(※) 止瀉薬『ピシヤット』・整腸薬『ラッパ整腸薬BF』



正露丸



セイロガン糖衣A



ピシヤット



ラッパ整腸薬BF

# セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

## ▶香港向けは堅調なるも、中国本土の落ち込みが大きく影響

- ・中国：販売ライセンス更新までの一時的出荷停止、現地卸売事業者の再編影響等
- ・台湾：現地販売代理店の在庫調整影響



正露丸



セイロガン糖衣A

### 地域別売上高

単位：百万円

	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	増減	増減率
中国・香港	591	427	△164	△27.8%
台湾	91	33	△57	△62.8%
その他(※)	23	24	1	6.7%
計	706	486	△220	△31.2%

(※) その他の対象エリア： 米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、モンゴル、ベトナム

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

- ▶ 新型インフルエンザ収束後の需要低迷により大幅減収
- ▶ 3Qは季節性・広告効果からに製品需要に一定の回復



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリンG スティックタイプ



クレベリン マイスティック



クレベリン ゲル スティック  
ディズニーバージョン

©Disney



リスパスS



リスパスNEO

## 製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

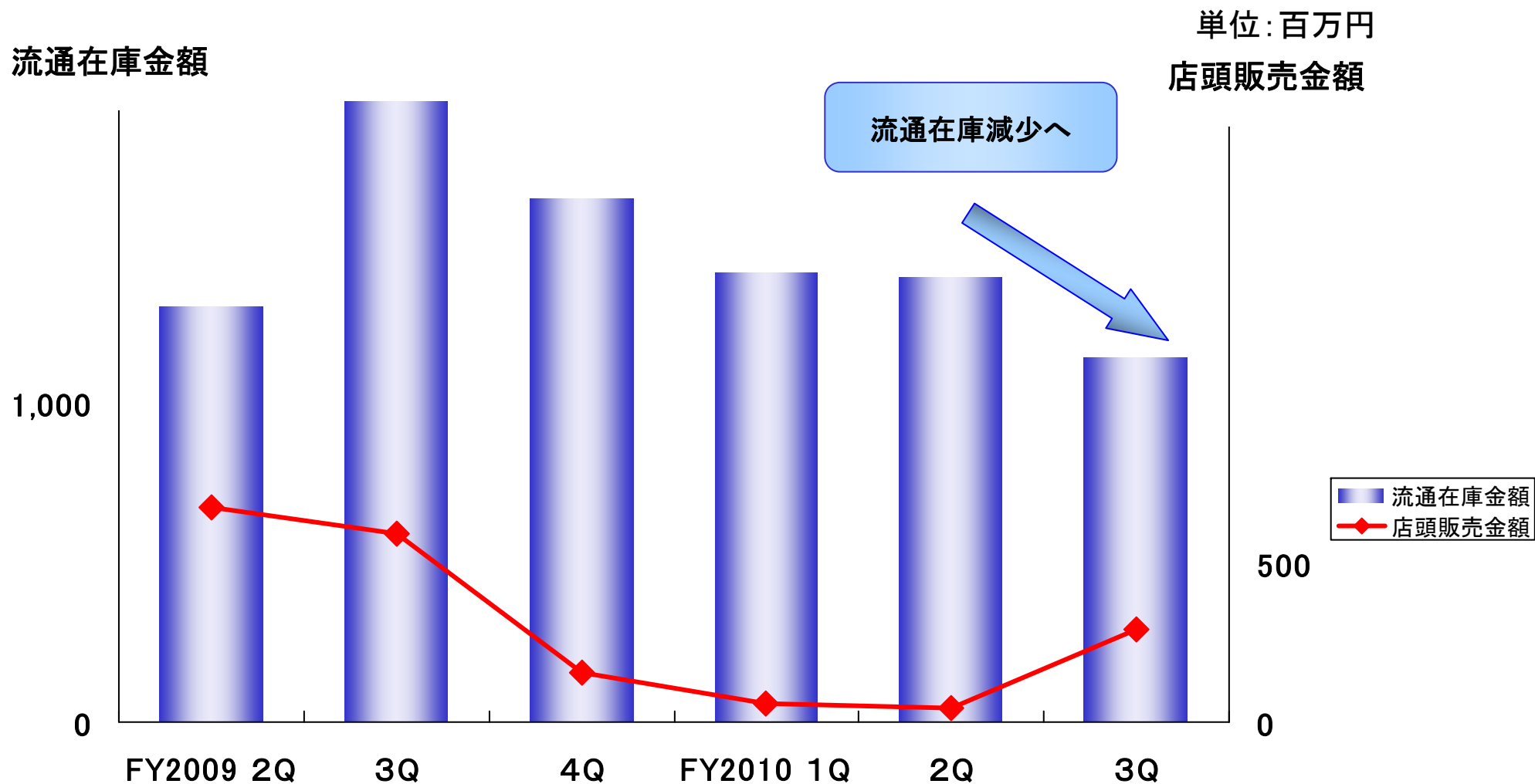
	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	増減	増減率
液剤	878	△50	△929	-
ゲル剤	2,898	126	△2,772	△95.6%
キット	53	△0	△53	-
リスパス(※1)	24	17	△6	△26.4%
その他(※2)	239	△30	△269	-
計	4,093	62	△4,031	△98.5%

(※1)リスパス:低濃度二酸化塩素ガス発生装置

(※2)周辺製品『クレベリン マスク』、『クレベリン ハンドジェル』

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

➤ 第3四半期は店頭販売の回復により、流通在庫が減少へ



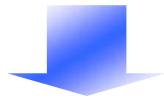
- 流通在庫金額: 当社出荷価格ベースによる当社推計値
- 店頭販売金額: 株式会社インテージの調査データを基に当社出荷価格ベースに換算した推計値



# セグメント別事業概況(感染管理事業)

## ▶ TVCMによる広告強化

- 「クレベリン」シリーズの認知度向上と店頭での販売促進に向けて

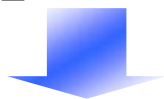


前年比約3.5倍のCM量を投下

## ■ 現在の認知度

3エリア(関東、東海、関西)平均 22.1%  
(2011年1月初時点)

放映期間: 2010年10月15日~12月31日(2.5ヶ月)  
調査方法: インターネット調査



さらなる認知度アップに向け、関東エリアにてCM増量(2010/12~2011/1)



## ▶ 新製品投入とメディアでの露出

### 【テレビ】

- ◆ フジテレビ  
「めざましテレビ MOTTOMODOKI!」  
『クレベリン マイステック』  
(2010/12/14) 他3本放映



### 【新聞】

- ◆ 読売新聞  
ウイルスさらば 除菌用品  
『クレベリン マイステック』  
(2010/10/26) 他10本掲載

### 【雑誌】

- ◆ 小学館「DIME」  
健康対策に役立つ! 最新予防グッズ  
カタログ  
『クレベリン マイステック』  
(2010/12/21) 他6本掲載



## ▶TVCMと店頭プロモーションの期間連動による相乗効果

→主要大手ドラッグストア(約6,000店舗以上)や家電量販店等で展開

〈プロモーション例 1〉



〈プロモーション例 2〉



# セグメント別事業概況(その他事業)

➤木酢液を配合した入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

## その他事業製品売上高

単位:百万円

	FY09 3Q累計	FY10 3Q累計	増減	増減率
木酢製品等	27	19	△8	△30.8%



# 大幸薬品

## ＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。